

愛とは何か

1. イエス・キリストが愛のもっとも完全な模範を示してくださいました。

愛は、他者のために真の幸福を求め、力を尽くして善を行うことです。

📖 「友のために自分の命を捨てる（奉獻する）こと、これ以上に大きな愛はない。」ヨハ 15,13

📖 「たとえ、人々の異言、天使たちの異言を語ろうとも、愛がなければ、わたしは騒がしいどら、やかましいシンバル。たとえ、預言する賜物を持ち、あらゆる神秘とあらゆる知識に通じていようとも、たとえ、山を動かすほどの完全な信仰を持っていようとも、愛がなければ、無に等しい。全財産を貧しい人々のために使い尽くそうとも、誇ろうとしてわが身を死に引き渡そうとも、愛がなければ、わたしに何の益もない。愛は忍耐強い。愛は情け深い。ねたまない。愛は自慢せず、高ぶらない。礼を失せず、自分の利益を求めず、いらだたず、恨みを抱かない。不義を喜ばず、真実を喜ぶ。すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてに耐える。愛は決して滅びない。」 1 コリ 13,1-8

2. 誰かを愛するとは、この人のために（この人を高めるために）生きるという無条件の決断である（commitment, コミットメント、献身、傾倒、誓約である）。感情を含むが感情だけではない。

📖 「わたしは、あなたととこしえの契りを結ぶ。わたしは、あなたと契りを結び／正義と公平を与え、慈しみ憐れむ。わたしはあなたとまことの契りを結ぶ。あなたは主を知るようになる。」ホセ 2,21-22

📖 「知らないのですか。あなたがたの体は、神からいただいた聖霊が宿ってくださる神殿であり、あなたがたはもはや自分自身のものではないのです。」 1 コリ 6,19

◆ 人間関係の段階

a. 知人： 他人についての情報を集め、自分の気持ちを調べる、話は表面的

b. 親善（仲間、友人）： 一緒にいろいろな経験をしたり、互いに楽な気持ちで共にいたりするが、まだ相手を調べていて、安全な距離を保って、どこまで自分の心を開いていいかがまだわからない。

c. 友情： commitment（誓約、約束、公約、確約、関わり合い、参加、傾倒、深入り）

言質： Commit ラテン語 *committere* より。（*com*-対して+*mittere* 送る = ある人に対して送る → ゆだねる、奉獻する）

この人と一緒にとどまり、互いの関係を深めるようにと努力していく決心。自己奉獻。共にいる時は、安心し合い、信頼し合い、心を開き、親密さを体験する。

d. 一致： 沈黙が自然なものとなり、一体となる体験、親密さが深まる。

3. 誰かを愛するとは、この人を無償で、無条件に、ありのままに受け入れることである。

愛によってこの人をより深く知るようになる。この人が貴くて、価値のある存在であることをこの人に知らせる。

📖 「主があなたがたを愛し、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの国民よりも数が多かったからではない。あなたがたはよろずの民のうち、もっとも数の少ないものであった。ただ主があなたがたを愛し、またあなたがたの先祖に誓われた誓いを守ろうとして、主は強い手をもってあなたがたを導き出し、奴隷の家から、エジプトの王パロの手から、あがない出されたのである。」申 7,7-8

📖 「敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも正しくない者にも雨を降らせてくださるからである。」マタ 5,44-45

4. 愛は、一時的なものではなく、いつまでも続くものである。

📖 「遠くから、主はわたしに現れた。わたしは、とこしえの愛をもってあなたを愛し変わることなく慈しみを注ぐ。」 エレ 31,3

📖 「愛は決して滅びない。」 1 コリ 13,8

5. 互いに愛し合う人は、自分の幸福よりも、どんな状況においても、(互いに支え合い、助け合い、守るために) 一緒にいて、互いの絆を深めることを求める。

愛の目的は幸福ではなく、愛の完成である一致です。 幸福は、副産物のようなもの。

📖 「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」 マタ 28,20

📖 「行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻って来て、あなたがたをわたしのもとに迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる。」 ヨハ 14,3

📖 「こういうわけで、男は父母を離れて女と結ばれ、二人は一体となる。」 創 2,24

📖 「かの日には、わたしが父の内におり、あなたがたがわたしの内におり、わたしもあなたがたの内におることが、あなたがたに分かる。」 ヨハ 14,20

6. 愛とは、相手に依存することとか、互いに依存し合うこと (共依存) ではなく、愛着や執着でもない。

◆ 愛は、ただ自由の中でだけ成長して行くので、相手の自由を尊重する (自分の満足や他の利益のために他者を利用したり、支配したりしない。他者がいつも自分と一緒にいることを求めても、この人には自分と一緒にいる義務とか、自分のために生きる義務があると思わない。求めても、それを要求する権利が自分がない。)

◆ 愛する人は、自分の自由を保つ (相手と一緒に生きることとか、相手の善のために力を尽くすことは、仕方がないからとか、強制させられたからではなく、自分がそれを自由に選んで、決心したから)。

◆ 本当に愛し合う人は、人間として成長し、絶えずより良い人間、思いやりのある人間になっていくが、依存の関係に生きる人は、成長せずに、その状態が段々と悪くなっていく。

偽りの自己の発達と働き

1. イエスが受けた誘惑（ルカ 4,1-13）は、人間の基本的な必要性を表わしています。

- | | |
|----------------|---------|
| 石をパンに | － 安全・残存 |
| 飛び降りて人気を得る | － 愛情・尊敬 |
| 悪魔を拜んで世界を手に入れる | － 権力・管理 |

人間の基本的な必要性	安全・残存 (security / survival)	愛情・尊敬 (affection / esteem)	権力・管理 (power / control)
イエスが示した現実	本当の安全は神と共にいること。 神はいつもわたしと共いてくださる。 神と共にいることが幸福の条件。	神がわたしを無条件に愛してください。 わたしは尊く、貴重な存在である。 神の愛を受け入れることが幸福の条件	全能の神が世界の支配者。 <u>すべてを神に委ねる</u> のが幸福の条件
福音的勧告	清貧	貞潔	従順

2. 赤ん坊にとっての幸福とは、感情の安定です。基本的な必要性が満たされるとき、感情は、安定していません。

3. 人間は神の現存と完全な愛の体験なしに、神との親しい交わりを持たずに（原罪の状況）育てられ、いろいろな辛い体験や欲求不満の体験のために、神、世界、自分を以下のように感じています。それがこの人の感情における世界観となります。

子供の体験に基づく感情における世界観	世界は危険で、敵に満ちたところ。 自己防衛が必要。	自分があまり価値のない、惨めな存在。 (劣等感)	世界や自分の人生を管理できない。逆らうことができない大きな力に管理され、自分の望みを満たすことができない。
--------------------	------------------------------	-----------------------------	---

4. 感情の安定を保つために、子供は、まず基本的な必要性に代わる必要性（象徴）を作ります。この代わりの必要性は後に要求や他人に対する期待となります。これらは、無意識的な価値観となり、隠れたところから、この人の行動を管理します。

代わりの必要性 (象徴)	(安心感を与える人、ものや動作。 例：母、おもちゃ、金、健康、仕事、性的非行)	他人（団体）に受け入れられ、認められること、性的非行（他人に愛されるために、ある条件を果たさなければならないと思う。例えば、相手の期待に応えること。相手を喜ばせること） 自分でOKだと思うこと（本当の確信に逆らって信じ込むこと）	他人や状況の管理 他人に対する権力、社会的な立場 成功、勝利、学歴 性的非行
幸福の条件（要求）	安心感を与える人やものを所有しなければ幸福にならない	他人に尊敬されなければ幸福にならない	他人や状況を管理しなければ幸福にならない。 管理のできない人や状況を避けなければならない。

SURVIVAL ROLES IN DISFUNCTIONAL FAMILY

家庭の機能を正しく発揮していない家族における子どもの自己防衛的な役

- ◆ What we learn first we learn best 最初に学んだことは、もっとも強く身に付いています。
- ◆ Whatever position child was in her/his family, she/he is in that position for the rest of their life 家族の中で子どもとして与えられた位置（役）は、大人になっても、社会の中の位置（役）になります。
- ◆ What we learned in our family of origin we will continue to do all our lives. 家庭の中で身に付けられた生き方は、一生の生き方となります。

<p>1. <u>FAMILY HERO</u> 家族の英雄</p> <ul style="list-style-type: none">➤ よく手伝う➤ 弱い人を守る➤ 責任感が強い➤ 野心が強い➤ 自分の必要性を表さないが、外に向ける➤ 他人の必要性を満たそうとする➤ いつも、他人を喜ばせることを望んでいる➤ もっとよくできるために、いろいろな力を身に付けようとしている➤ 他の子どもと一緒にいるよりも、大人と一緒にいることを好む	<p>3. <u>MASCOT ROLE (CLOWN, family pet)</u> <u>エンターテイナー</u></p> <ul style="list-style-type: none">➤ 他人が聞きたいこと（喜ぶこと）を言う➤ 自分にとって何が大切かということが分からない➤ なかなか決断することができない➤ 状況に合わせて、自分の態度や振る舞いを変える➤ 言葉や行動によって他人を笑わせたり、楽しませたりする➤ 内面的に空っぽ➤ 悲しい、不安を抱いている➤ 感情が不安定➤ やり出しても、成し遂げないことが多い➤ 問題を解決する代わりに、それを冗談に変えようとしている
<p>2. <u>REBEL ROLE (SCAPEGOAT)</u> <u>反抗者（贖罪のヤギ）</u></p> <ul style="list-style-type: none">➤ 注目を求めている（問題を起こすことによって注目を得ようとしている）➤ いつも問題を起こしている➤ 周りに合わせるができないので、悲しい➤ 強い➤ 攻撃的➤ 他人を訴えたり、他人のせいにしたりする➤ 身内と親しく➤ 家族から隔離されているが、同年齢の人に受け入れられている➤ 自分と同じような犯行者と仲良くしている➤ 自尊心が弱い	<p>3. <u>LOST CHILD</u> 迷子（透明の子ども）</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 内氣的、引っ込みがち。➤ 自身がない➤ 気楽に振る舞っている➤ 問題を起こしたくない➤ 自己アイデンティティがはっきりしていない➤ 憤りや怒りに満ちていても、その原因が分からない結果、人から離れている➤ 一人ぼっち➤ 自分の必要性や欲求を表さないし、その存在を認めない➤ 落ち込み（自殺率が高い）➤ 機械に強い➤ ペットを飼っている➤ 想像上の友達がいる➤ 管理のできるものを管理している➤ 物（たとえば切手など）を集めることを好む